

【ニュースレター】

年末年始の防犯対策

**2015年、住宅の侵入窃盗被害は10分に1回発生！年末年始を含む冬～春に増加
年末年始に家を空ける人は、新聞だけでなく年賀状の配達も停止して空き巣対策
出費が増える年末年始は、「すり」にもご注意ください！**

早いもので、今年も残すところあとわずかとなりました。年末年始の時期は、帰省や旅行のために自宅を長期間留守にすることで、空き巣被害に遭わないか不安を感じている方も多いと思います。

ALSOKでは、不安を抱えている方へ防犯対策の参考にしていただくため、住宅への侵入窃盗犯の傾向と、年末年始にとるべき対策をまとめました。

トピックス

● 統計データから読み解く、侵入窃盗の傾向……………P2

- 侵入窃盗の認知件数はピーク時の1/4に減少
- 2015年の侵入窃盗認知件数は約5万件 10分に1戸のペースで被害発生
- 一戸建住宅は「窓」から「ガラス破り」で侵入された事例が最多
共同住宅では「無締り」の「表出入口」から侵入された事例が最も多い

● 年末年始の空き巣対策……………P5

- 空き巣は、毎年冬から春にかけて増加
- 空き巣発生のメカニズムから考える防犯対策
- 犯行を行いやすい家の特徴と、そう思わせないための対策
- 空き巣犯が発見・通報・逮捕されやすい環境を作る

● 年末年始は「すり」にも注意！……………P15

- 年末年始は家計の支出が多く、「すり」の被害が増加

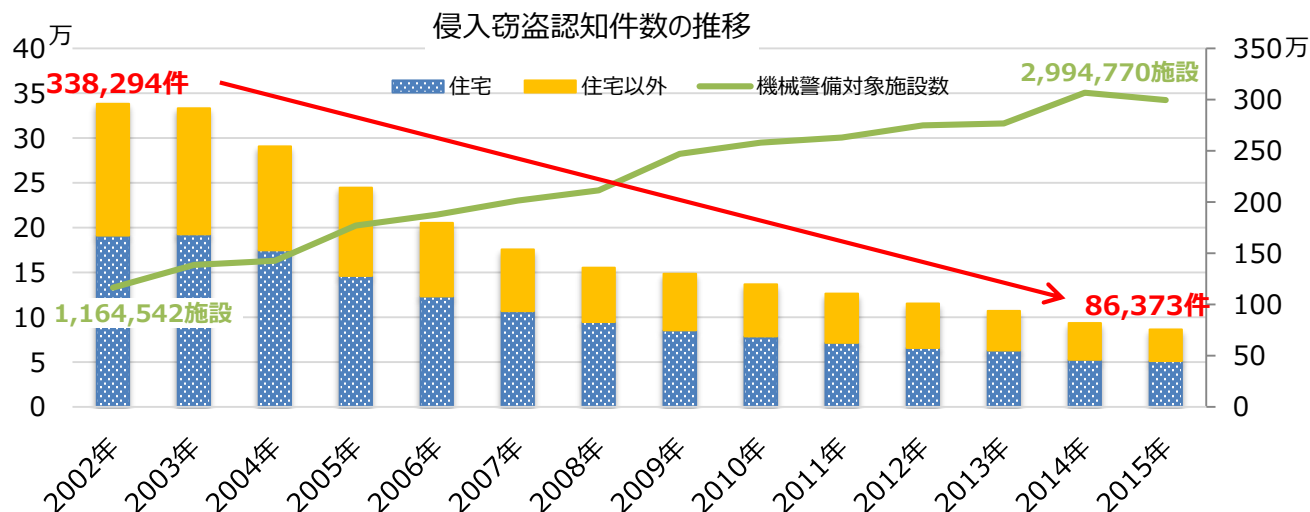
● 年末年始の空き巣対策に有効な商品・サービス……………P16

統計データから読み解く、侵入窃盗の傾向

警察庁の統計によると、侵入窃盗の認知件数は年々減少しており、**2015年における認知件数は86,373件で、過去最多を記録した2002年（338,294件）と比較すると四分の一程度**となっています。減少の理由については諸説ありますが、ホームセキュリティなど機械警備システムが手ごろな価格になり普及がすすんだこと（機械警備対象施設数は平成14年当時の約2.6倍に増加）も寄与しているのではないかとされています。

発生場所別で見ると、2015年には**全体のおよそ6割（約5万件）の侵入窃盗が住宅で発生**していました。これは、**およそ10分に1戸のペースで侵入窃盗被害が発生していた**という計算になります。

侵入窃盗の被害に遭うことになれば、家財や財産を失うことはもちろん、「悪意を持った何者かに侵入された」という事実と、「また侵入されるかもしれない」という不安から大きな精神的ショックを受けてしまいます。被害を防ぐためにも、侵入窃盗の手口や傾向を知り、適切な対策をとることが大切です。

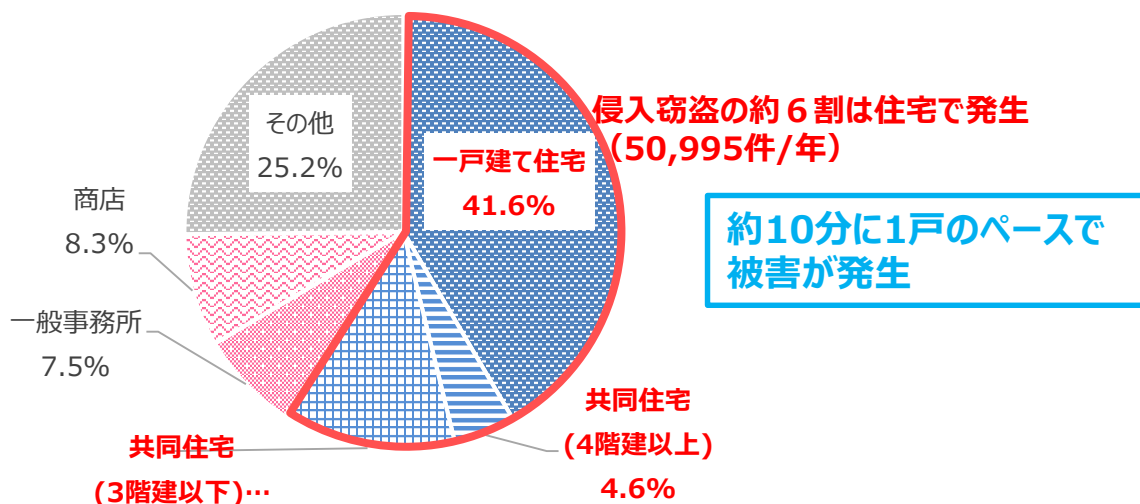


出典：警察庁「平成23年の犯罪情勢（2012年）」、「平成26、27年の犯罪情勢（2016年）」
および、警察庁「平成14年～平成28年における警備業の概況（2003年～2016年）」を基に作成

侵入窃盗の認知件数は、ピーク時の約 1 / 4 に減少

2015年は、1日あたり約240件の被害が発生

侵入窃盗 侵入場所別認知件数（2015年）

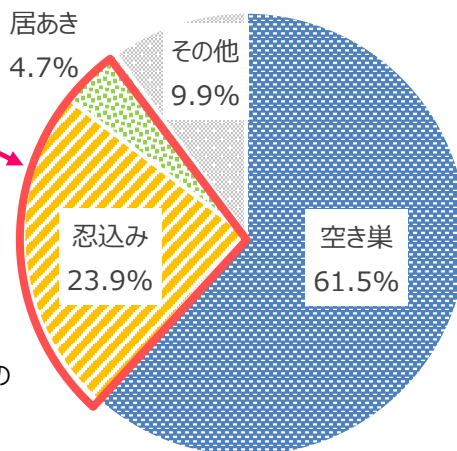


出典：警察庁「平成27年の犯罪（2016年）」より

■ 住宅における侵入窃盗の実態と防犯対策

住宅で発生した侵入窃盗の手口別認知件数
(2015年)

**在宅時の侵入窃盗は
全体の3割**



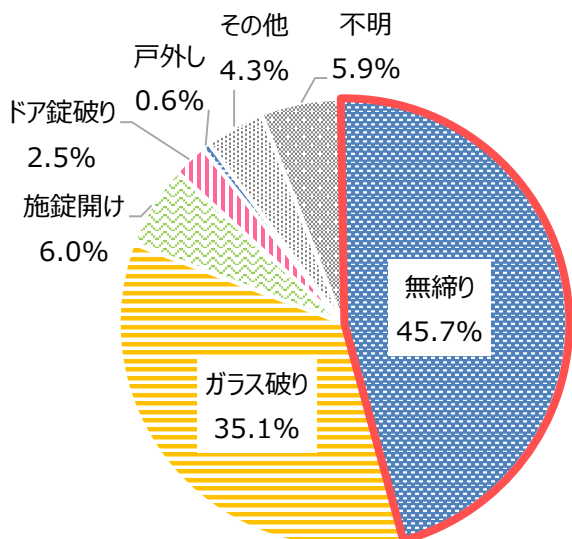
- ・「空き巣」・・・家人が留守にしている間に侵入するもの
- ・「忍込み」・・・夜間、家人の就寝時に侵入するもの
- ・「居あき」・・・家人が在宅中に気付かれないように侵入するもの

出典：警察庁「平成27年の犯罪（2016年）」より作成

「侵入窃盗」と聞くと、家人が出かけて留守にしている間に侵入して金品を盗む、いわゆる「空き巣」をイメージされる方が多いのではないのでしょうか。実際に、この「空き巣」は侵入窃盗の手口の中では最も多く、全体の約6割を占めています。一方、家人が在宅している間に侵入する「忍込み」・「居あき」といった手口も数多く発生しており、**在宅時の侵入窃盗は全体の約3割**にのぼっています。

「居あき」は、食事中や団らんなど、家族がひとつの部屋に集まっているときや、主婦が洗濯物を干しているときなどが狙われやすいと言われています。たとえ在宅中であっても、目の届かない箇所は必ず施錠を行う習慣をつけましょう。

住宅で発生した侵入窃盗の侵入方法別認知件数
(2015年)



**「無締まり」が
約半数を占めている**

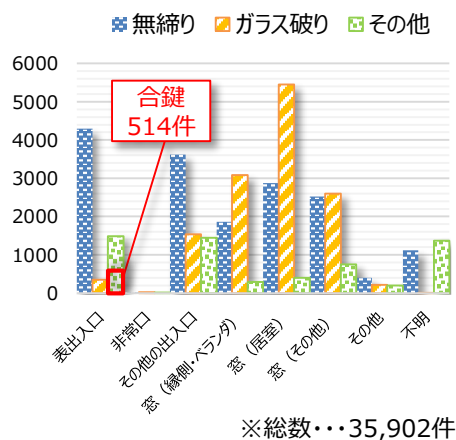
住宅で発生した侵入窃盗の侵入方法は、鍵の閉め忘れである「無締まり（46%）」が最も多く、次いで「ガラス破り（35%）」となっています。ピッキングやサムターン回しなど、いわゆる「施錠開け」の手口は、対策されたドアや錠が増えたこともあり年々減少しており、6.0%にとどまりました。

泥棒は、「カギをかけ忘れた窓はないか」、「周囲に気付かれずに破ることができる窓はないか」という視点から標的を物色すると言われています。また、ゴミ出しなど「少しの時間なら大丈夫」と油断して施錠しなかったことから侵入されたという事例も少なくありません。

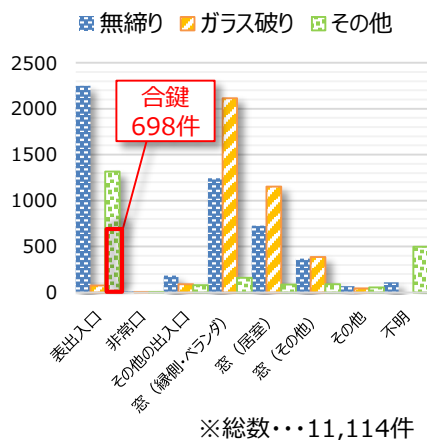
泥棒から自宅と家族を守るには、「泥棒に見られているかもしれない」ということを念頭に置いて施錠を徹底するとともに、侵入経路になり得る窓があれば可能な限り死角を減らし、防犯フィルムや補助錠、警報ブザーなどの対策を施しましょう。

出典：警察庁「平成27年の犯罪（2016年）」より作成

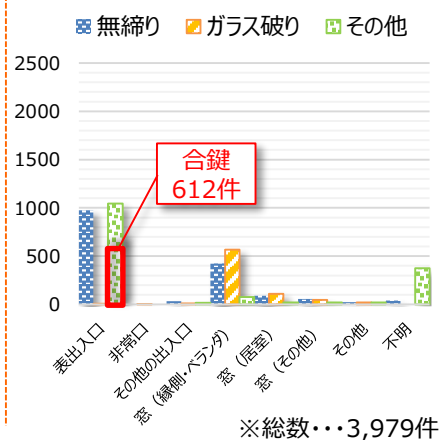
一戸建住宅



共同住宅（3階建以下）



共同住宅（4階建以上）



出典：警察庁「平成27年の犯罪（2016年）」を基に作成

一概に「住宅」といっても、一戸建てから高層マンションまでその形態は様々で、それぞれ侵入口や侵入手段の傾向は大きく異なります。**一戸建住宅では、居室などの「窓」から「ガラス破り」で侵入する手口の割合が特に多く発生**しています。一方、**共同住宅では、一戸建住宅と比べて「無締り」の「表出入口」から侵入される手口の割合が高くな**っており、エントランスにオートロック扉があるからと油断して専有部の扉を施錠しない住人の隙が狙われていることがわかります。

さらに、**4階建以上の共用住宅になると、「無締り」の「窓（ベランダ）」から侵入する手口の割合が高くな**っています。ここでは、「高層階のベランダから侵入されることはないだろう」と、施錠を疎かにしている住人が窃盗犯のターゲットになっていると考えられます。高層階を狙う窃盗犯は、屋上や非常階段などからベランダへ侵入し、ベランダ伝いに隣の住戸へ移動して、次々と犯行を繰り返します。多くのマンションのベランダは周囲から死角になっており、窃盗犯がガラス破りの作業を行うのに好都合な環境であることも被害を拡大する要因です。

マンション全体の防犯対策として、①屋上に簡単に立ち入れないようにする、②想定される窃盗犯の動線上に防犯カメラを設置する、③共用部からベランダに飛び移れそうな場所があれば忍び返しや有刺鉄線を設置する、といった対策が効果的でしょう。各住居のベランダに面した窓の施錠を徹底することはもちろん、補助錠や防犯フィルム、窓が開くと鳴動する警報ブザーを設置することで、窃盗犯が簡単に侵入できない環境作りをすることをおすすめします。

2016年9月、愛媛県でマンション管理人を装った男が住人の女性に鍵を見せるように求め、鍵に刻印された番号を記録したうえでインターネットで合鍵を注文、入手した上で居室に侵入したとして逮捕される事件がありました。この事件が鍵や鍵番号の取扱いについて考えるきっかけになったという方も多いのではないのでしょうか。

侵入犯が鍵を入手した経緯は定かではないものの、**住宅に「合鍵」を使って「表出入口」から侵入する手口の侵入窃盗の認知件数は、年間約1,700件**にのぼります。鍵は貴重品として厳重に管理することはもちろん、住所が分かるものと一緒には持ち歩かず、鍵番号が他人から見えないようにしておきましょう。また、賃貸住宅や中古住宅など、過去に出入りしていた人がいる住宅は、必ず鍵を交換していることを確認し、後付け可能な補助錠などを設置してとよいでしょう。

マンション全体の防犯対策：

- ① 屋上に簡単に立ち入れないようにする
- ② 想定される窃盗犯の動線上に防犯カメラを設置する
- ③ 共用部からベランダに飛び移れそうな場所には忍び返しや有刺鉄線を設置する

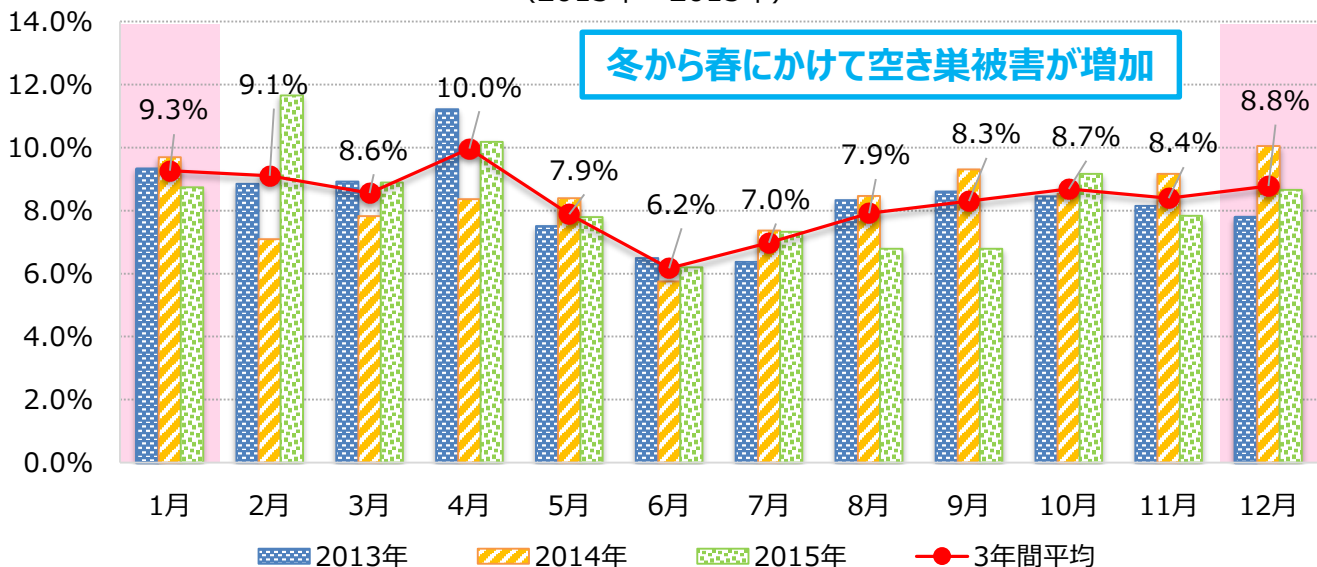
自宅の防犯対策：

- ① 窓と扉は必ず施錠する
- ② 補助錠や防犯フィルム、警報ブザーなどで侵入しにくい環境を作る
- ③ 住所が分かるものと鍵を一緒に持ち歩かない
- ④ 鍵番号は他人から見られないようにする
- ⑤ 賃貸住宅や中古住宅は、鍵が交換されていることを確認し、補助錠を設置する

年末年始の空き巣対策

帰省や旅行などで長期間家を空けることが多くなる年末年始は、自宅が「空き巣」に入られないかと不安に感じている方も多いのではないのでしょうか。

東京都 空き巣の認知件数の月別発生比率
(2013年～2015年)



※警視庁「警視庁の統計（2013年～2015年）」をもとに作成

上記のグラフは、2013年から2015年にかけて、東京都内で発生した空き巣の月別発生比率を表したものです。年末年始の時期に顕著に増加するとは言えませんが、冬から春にかけての季節は、1年のうちで空き巣被害が多くなる時期であることが分かります。

一年を無事に締めくり、幸先のよい新年のスタートを切るためにも、年末年始は気を引き締めてしっかりと防犯対策を行いましょう。

■ 空き巣が発生するメカニズム

犯罪発生メカニズムを説明したものに、「日常活動理論（※注）」という理論があります。これは、「ある時間／空間において、①動機づけられた犯行者、②適当な標的、③有能な監視者の欠如という3要素が重なり合うときに犯罪が発生する」という考えで、①～③は「犯罪発生メカニズムの3要素」と呼ばれます。犯罪はこの3つの条件がそろったときに発生する、まるで「化学反応」のようなものだと捉えるこの理論は、様々な犯罪の発生要因の分析と予防に活用されています。

例えば、日常生活に身近な「化学反応」である「燃焼」にも「燃焼の3要素」と呼ばれる「熱源」「可燃物」「酸素」の3つの要素があり、ひとつでも欠けると燃焼は起こりません。「防火」、「消火」といった行為は、この3要素を揃わせない、または揃ってしまったもののいずれかを除去しようという行為であるといえます。

これと同様に、特定の時間と空間内において犯罪が発生することを防ぐために、いかにしてこの「犯罪発生メカニズムの3要素」が揃わないようにするかを考え実践することが「防犯」であるといえます。

（※注）「日常活動理論」：1970年代後半、アメリカの犯罪学者マーカス・フェルソンとローレンス・コエンによって主張された理論の一つ。「Routine Activity Theory」を和訳したもの。

犯罪発生メカニズムの3要素

ある時間と場所において、この3つの要素が揃ったときに犯罪は発生する。この3つが揃わないように働きかけることが「防犯」といえる。

動機づけられた
犯行者

適当な
標的

有能な
監視者の欠如

■「日常活動理論」から考える、年末年始の空き巣対策

前頁で説明した「日常活動理論」に当てはめて、年末年始の空き巣対策を考えてみましょう。

ある時間／空間において、**①動機づけられた犯行者**、

年末年始の不在期間／自宅

空き巣犯

②適当な標的、**③有能な監視者の欠如**という3要素が重なり合うときに犯罪が発生する。

犯行を行いやすい家

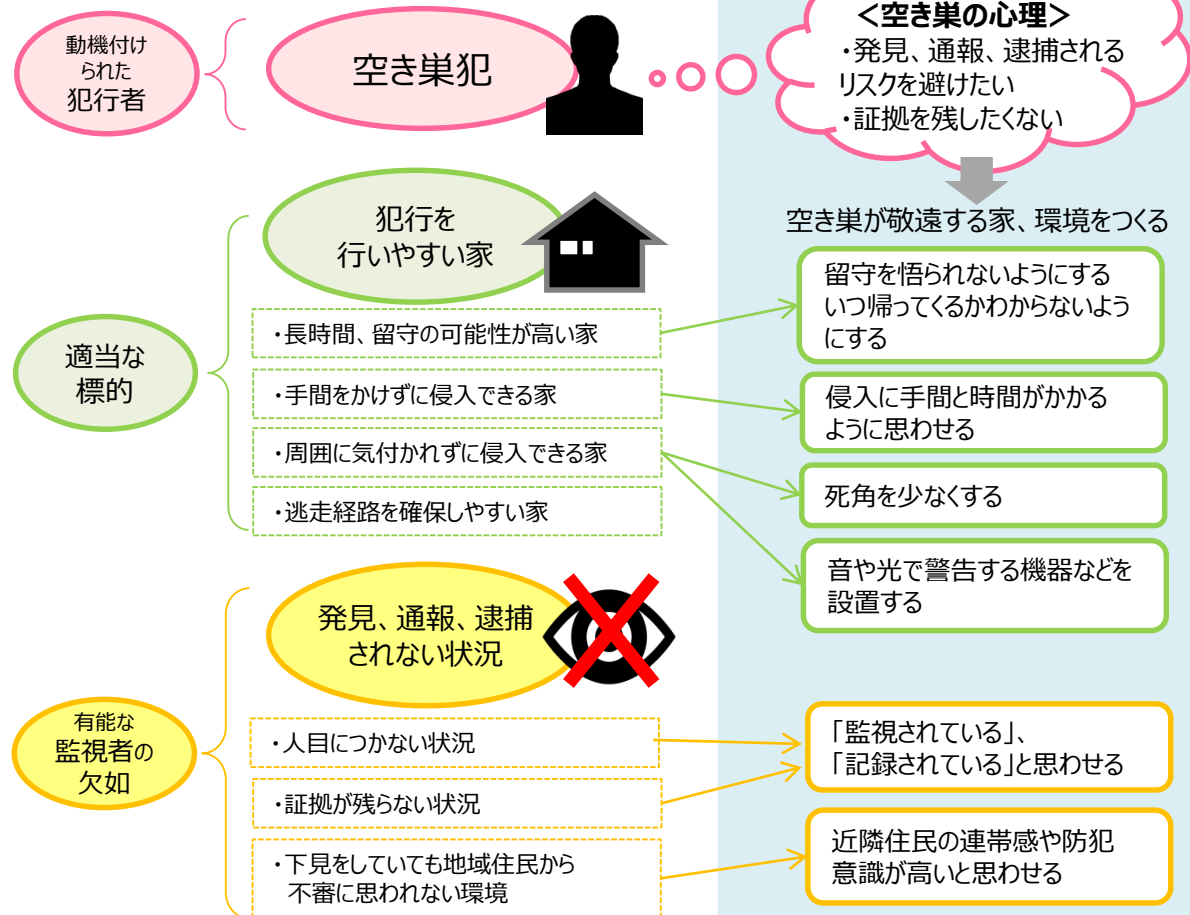
発見、通報、逮捕されない状況

「空き巣犯」が自宅に接近してきたときに、いかにして「犯行を行いやすい家」、「発見、通報、逮捕されない状況」ではないと思わせるかが、空き巣対策のポイントです。

空き巣対策の考えかた

3要素が揃うと空き巣が発生

空き巣を発生させないためには・・・



■ 空き巣犯の心理や行動パターンから考える防犯対策

では、空き巣にとってどのような家や状況が、犯行を行うのに好都合なのでしょうか。

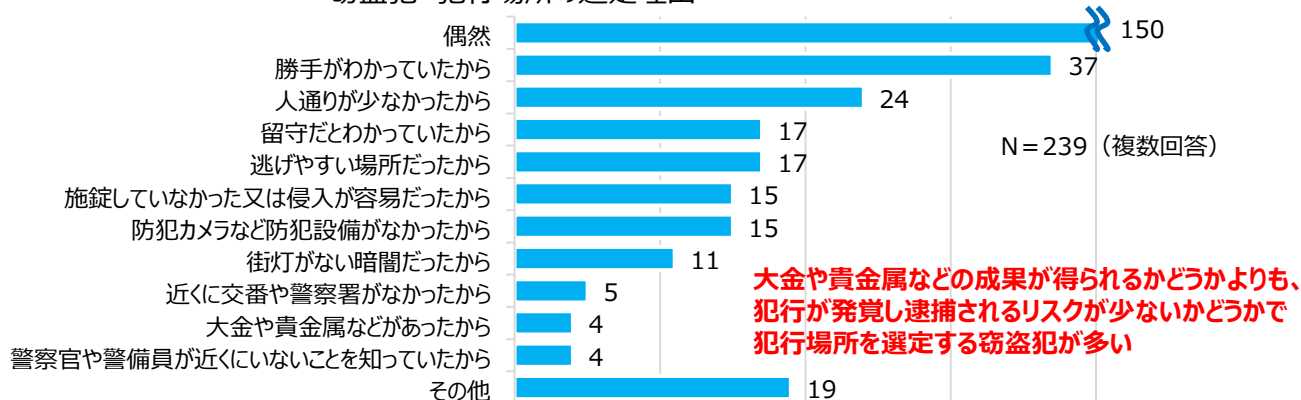
2008年、警察庁は全国11か所の拘置所・拘置支所の被収容者を対象に、どのような理由で犯行場所を選定したか、犯行前にどの程度下見を行ったかというアンケート調査を行いました。

この結果によると、大金や貴金属などの成果が確実に得られそうな場所かどうかよりも、犯行が発覚し逮捕されるリスクが少ない場所かどうかで犯行場所を選んだという回答の方が多かったようです。

犯行場所の選定理由が「偶然」であったり、「下見を行わなかった」という回答が目立ちますが、調査当時の侵入窃盗犯罪の検挙率は50%前後であり、これらの統計には検挙されていない残り約半数（認知されていないものも含めるとさらに多い可能性がある）の窃盗犯の思考・行動パターンが反映されていません。検挙されていない窃盗犯は、アンケートの対象となった窃盗犯よりもより周到な下見を行ない、慎重に犯行に及んでいると考えたほうがよいでしょう。

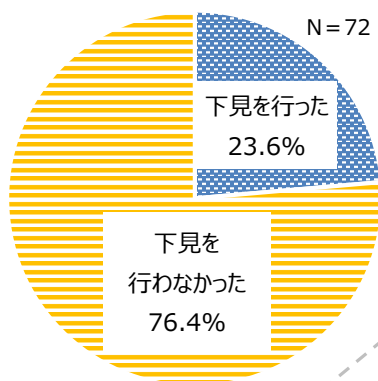
また、調査した当時と比べて防犯設備やIT環境などが大きく変化した現在では、標的周辺の下見にインターネットの写真付き地図を使ったり、SNSから標的の情報収集を行う窃盗犯もいるので、より一層の注意が必要になっていると言えます。

窃盗犯 犯行場所の選定理由

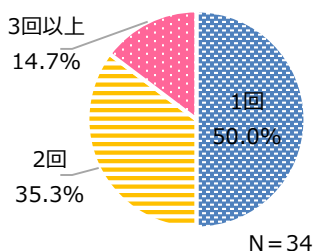


出典：(社)日本都市計画学会 都市計画報告集No.8
「犯罪者の視点から見た防犯環境設定の有効性の検討
—全国の被収容者を対象とした質問紙調査報告—」(調査2008年、発表2009年)より

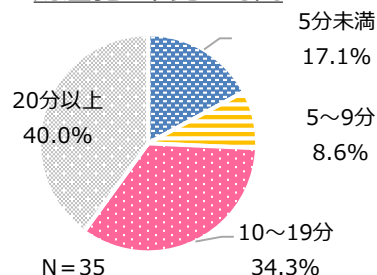
窃盗犯 下見実施の有無



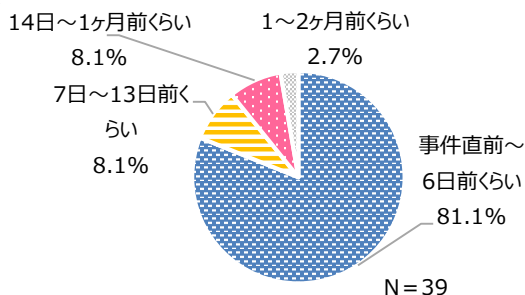
財産犯 下見の回数



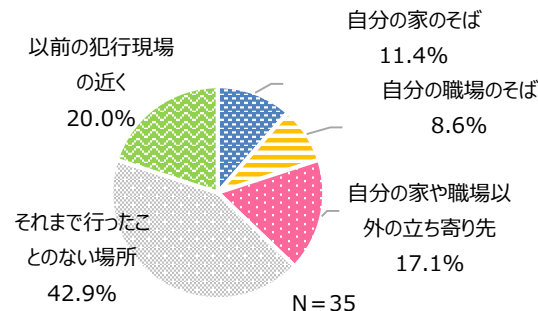
財産犯 下見の時間



財産犯 下見を行った時期



財産犯 下見を行った場所



出典：(社)日本都市計画学会 都市計画報告集No.8「犯罪者の視点から見た防犯環境設定の有効性の検討
—全国の被収容者を対象とした質問紙調査報告—」(調査2008年、発表2009年)より

■ 空き巣が標的にする家の特徴と、標的にならないための対策

空き巣が標的にする家の特徴

- ① 長時間、留守の可能性が高い家
- ② 手間をかけずに侵入できる家
- ③ 周囲に気付かれずに侵入できる家

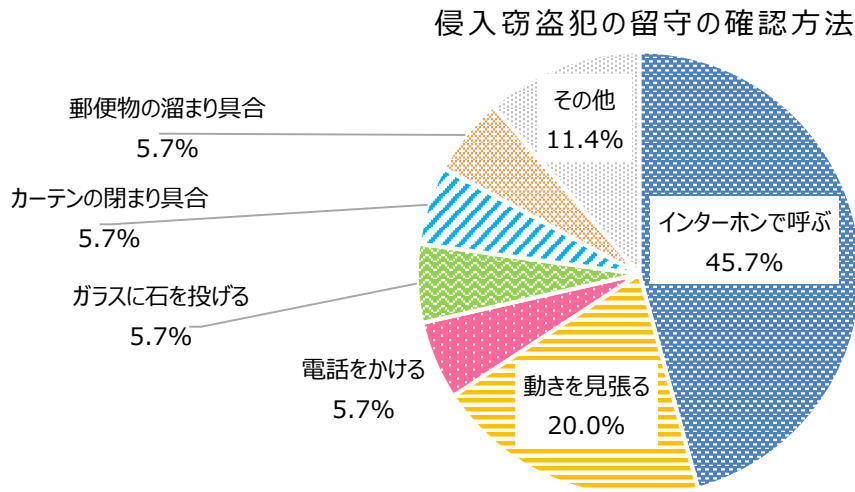
標的にならないための対策

犯行をしにくい環境を作る

- ◆ 周囲から見えにくい場所をなくす
- ◆ 犯行の証拠が残るようにする
- ◆ 防犯意識の高い地域であると感じさせる

特徴①：長時間、留守の可能性が高い家

P7のアンケート結果にも表れていたように、空き巣に「留守にしている」と確信を持たれてしまうような家は標的にしやすい家といえます。以下に挙げる点が留守かどうかの判断材料にされるといわれていますので、不在を悟られないような対策を講じておきましょう。



出典：(財)都市防犯研究センター「侵入盗の実態に関する調査報告書」（1994年）

留守を見抜かれてしまうポイント①

➡ インターホンを押しても誰も出ない

<対策>

侵入窃盗犯が留守を確認する方法として最も多いといわれているのが、インターホンを押して呼んでみるという方法です。これに対して在宅を装うことは難しいので、いかにしてインターホンを押させないようにするかを考えましょう。**犯人は証拠を残すことを嫌うので、録画機能付きのインターホンを設置するのがおすすめです。**さらに、ボタン付近に「録画中」といったことを書いておけば、安易に押せなくなるでしょう。

留守を見抜かれてしまうポイント②

➡ 大きな荷物を持って出かけた

<対策>

住人の動きを見張ることで留守を見抜くという窃盗犯も多いようです。もし、キャリーバッグなど大きな荷物を持って出かけていくところを見られてしまうと、これから長期間留守にすると確信を持たれてしまうでしょう。可能であれば**大きな荷物は宅配便などで予め目的地に送っておく**ことをおすすめします。また、**出かける際には家に誰もいなくても「行ってきます」と声をかける**ようにするとよいでしょう。

また、ガレージに車があるかどうかで留守を見分ける窃盗犯もいます。シャッターで閉鎖できるガレージなら、日頃から閉めておくようにしましょう。

留守を見抜かれてしまうポイント③

➡ 電話に誰も出ない

<対策>

空き巣犯が標的の電話番号を知っている場合、電話をかけることで留守かどうかを判断することがあります。最近では携帯電話に自動転送できる電話が増えているので、**可能であれば携帯電話に転送する**と安心です。

留守番電話のアナウンスでも、「**〇日まで留守にしています**」というような内容はやめましょう。

例えば、普段から「迷惑電話対策のため、最初にお名前とご用件を伺っています」「不審な電話は警察に通報します」というアナウンスにしておけば、留守だと確信を持たれない上に、「声」という証拠を残したくないと考える相手からの迷惑電話や詐欺電話を撃退する効果も見込めます。

留守中に限らず、日頃から自宅の住所と電話番号が不特定多数の人に知られないように注意しておくことが大切です。まれに自転車や持ち物に住所と電話番号を書いている方がいますが、防犯の観点からはおすすめできません。



留守を見抜かれてしまうポイント④

➡ 昼間なのに雨戸やカーテンが閉まっている

<対策>

昼間から雨戸や厚手のカーテンで閉め切られている家も、空き巣犯は留守ではないかと目をつけるようです。補助錠や防犯フィルムなど窓の防犯対策をしっかり行っただけで、留守と思われない状態にしておきましょう。

留守を見抜かれてしまうポイント⑤

➡ 郵便受けに新聞や年賀状が放置されている

<対策>

郵便受けにある配達物が取り込まれていない状態から、家に入出入りする人がいないということ知られてしまいます。特に年始は、年賀状を郵便受けに放置しておくことは非常に危険といえるでしょう。**新聞は販売店に配達を止めるように、年賀状などの郵便物も郵便局に不在届を提出して配達されないようにしておく**とよいでしょう。

留守を見抜かれてしまうポイント⑥

➡ 夜、室内に明かりがついていない

<対策>

タイマーでON/OFF設定ができる照明器具などがあれば、夜間に電源が入るように設定しておくで安心です。タイマー機能がついていない場合は、ホームセンターで1,000円程度で販売されているコンセント設置型の電源タイマーを使ってスタンド灯などを点灯させる方法もあります。

留守を見抜かれてしまうポイント⑦

➡ 数日間、洗濯物が取り込まれていない

<対策>

同じ洗濯物が干しっぱなしで取り込まれていない家は、留守にしていると言っているようなもの。何日間か家を留守にする際は、洗濯物は部屋干しするようにしましょう。

留守を見抜かれてしまうポイント⑧

➡ 自宅に不在だということがわかるSNS投稿がある

<対策>

イギリスで行われた元・空き巣犯へのアンケート調査では、約8割が「ターゲットを特定する際にSNSを使う」と回答しました。例えば、「〇日まで家族旅行中」と投稿すると、過去の投稿など様々な手がかりの中から投稿者の住所を特定した空き巣の標的にされるおそれがあります。

外出時は、不在にしていることが分かる投稿は避け、旅行など仲間に知らせたい報告は帰宅後に投稿することをおすすめします。

スマートフォンなどで撮影した画像には、端末の設定によってはExif情報と呼ばれる撮影場所の位置情報データが記録されるようになっていきます。自宅のExif情報が記録された画像を不特定多数の人がアクセスする場所にアップロードすることは避けたほうがよいですが、2016年11月時点では、Facebook、Twitter、Instagram、LINEは自動でExif情報が消えるので心配はいりません。ただし、一部のブログサービスなどではExif情報は消去されなかったり、別途設定が必要だったりするので、ご注意ください。

留守を見抜かれてしまうポイント⑨

➡ 季節の飾り物が片付けられていない、または早すぎる時期に飾ってある

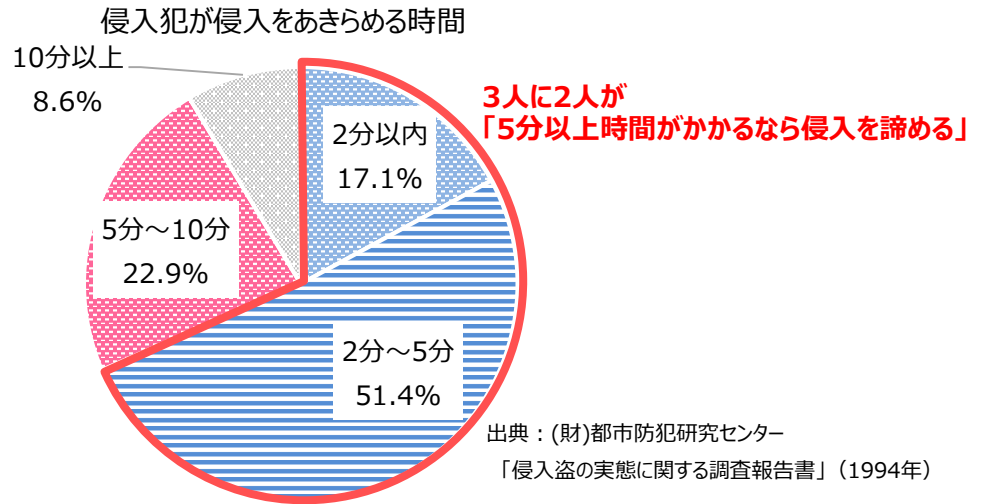
<対策>

年末年始は、クリスマス飾り、正月飾りなど、家に飾りつけをする機会が多いです。しかし、クリスマス飾りが年の瀬まで飾られていたり、極端に早い時期に正月飾りを出しているような家は、長期不在中と思われる可能性があります。クリスマスや正月飾りの飾りつけや片付けは適切な時期に行うのがよいでしょう。

特徴②：手間をかけずに侵入できる家

空き巣が家に侵入するためにはまずその経路を作らなければいけません。侵入経路作りに時間がかかると通行人に目撃されたり家人が帰ってくるリスクが高まるので、空き巣犯は短時間で侵入できそうな家に目をつけます。

元・空き巣を対象とした調査では、3人に2人が「5分以上時間がかかるなら侵入を諦める」と答えていることから、**侵入に手間がかかりそうな家だと思わせることが対策のポイント**になります。



侵入が容易だと思われる家の特徴①

➡ 窓や扉のカギがかかっていない

<対策>

住宅への侵入方法の約半数が無締りであることを前述しましたが、鍵のかけ忘れは空き巣に大きなチャンスを与えてしまうことになります。

外出前には戸締りをしなければいけないとわかってはいても、準備に手間取り電車や飛行機の時間に遅れそうになってしまうと、どうしても確認が疎かになってしまうもの。余裕を持って出発準備を整えることも大切です。

侵入が容易だと思われる家の特徴②

➡ 防犯対策がとられていない窓がある

<対策>

住宅への侵入方法のうち約三分の一を占めているのが「ガラス破り」の手口です。普通の窓ガラスであれば、工具などを使いほんの数秒でガラスを破って開錠、侵入することができます。侵入経路となりうる窓には防犯フィルムに加え補助錠などを設置し、「侵入に手間がかかる」と思わせるようにしましょう。**補助錠は、外から見て設置されていることが一目瞭然であるタイプのほうが高い抑止力を期待できます。**

侵入が容易だと思われる家の特徴③

➡ 足場となる物が放置されている

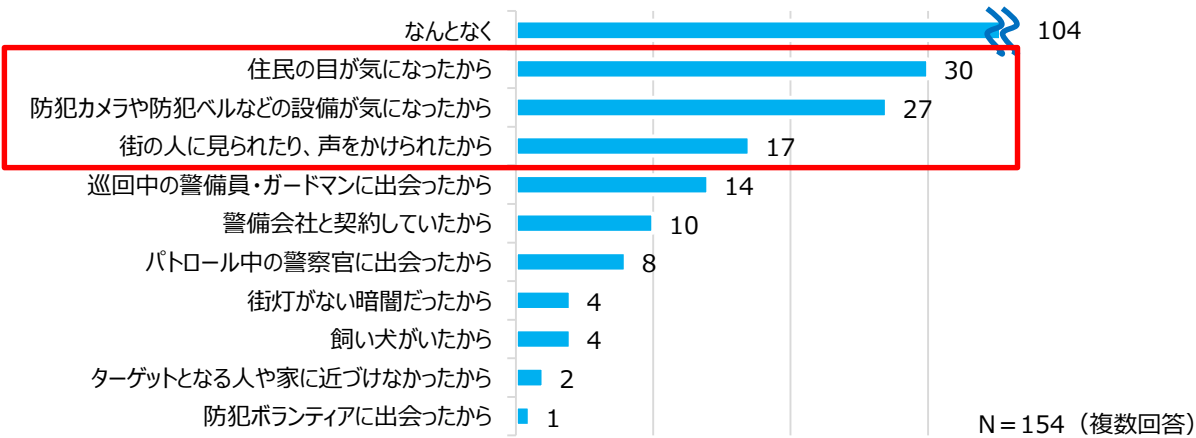
<対策>

集合住宅では上階の住居ほどベランダが無防備になりがちであるという統計を紹介しましたが（P4）、一戸建てにおいても上階の窓のほうが防犯対策が手薄になる傾向があります。また、ベランダに登れば路上からは死角になるので、周囲に気付かれずにガラス破りの作業を行うことができます。上階の窓を狙いたい空き巣にとって、足場がある状態はまさに「渡りに船」。**上階に登るための足場となり得る物は庭に置かないようにし、どうしても移動できないもの（エアコン室外機や近隣の電柱など）がある場合は、忍び返しを設置するなどの対策をとりましょう。**

特徴③：周囲に気付かれずに侵入できる家

元・窃盗犯が犯行を思いとどまった理由の統計を見ると、犯行中に周囲に気付かれてしまうことを恐れる空き巣は多いようです。「この家に入ると周りに気付かれてしまいそうだ」と思わせるような対策をとりましょう。

窃盗犯 犯行を思いとどまった理由



出典：（社）日本都市計画学会 都市計画報告集No.8「犯罪者の視点から見た防犯環境設定の有効性の検討—全国の被収容者を対象とした質問紙調査報告—」（調査2008年、発表2009年）

犯行が気付かれにくい家の特徴①

➡ 侵入口が死角になっている

<対策>

空き巣の多くは窓を破って侵入することを企てるので、周囲の目を気にせずに作業ができる窓があればそこは格好の侵入口となります。**侵入経路になりそうな場所は、可能な限り見通しをよくしておくことが大切**です。庭の植栽などが視界を遮っているようなら、枝を切るなどして見通しをよくしておくといでしょう。

犯行が気付かれにくい家の特徴②

➡ 犯行時の音がかき消される

<対策>

ガラスやドアを破壊する際にはそれなりの音が発生するので、その音をかき消してくれる電車や大型車両が近くを通過するような立地の家は空き巣の標的になりやすいといわれます。



こういった場所にお住まいの方は、犯行に及んだ際に大きな音が鳴り周囲に異常を知らせることができる対策が有効と考えられます。具体的には、**踏むと大きな音の出る防犯砂利を庭に敷いたり、窓ガラスに衝撃が加わるとブザーが鳴動する装置を設置しておくこと**などが挙げられます。**夜間の防犯対策には、音や動く物体を感知して点灯するセンサーライトも有効**でしょう。

■ 標的にならないための対策

空き巣犯の標的にならないためには、空き巣犯が**犯行をしにくい環境を作る**ことが重要です。

(1) 周囲から見えにくい場所をなくす

これまでに紹介したアンケート結果から、**多くの窃盗犯は人目につくことを避けようとしている**ことが分かります。人の往来が途切れない場所や、近隣のマンションのベランダや窓からよく見える場所など、周囲から見やすいところにある家はこの点において比較的安心といえるでしょう。

当然、周囲から見えにくい場所ほどリスクが高いといえますが、そのような場所を第三者の目で自然に監視してもらえる環境に変えるというのは、なかなか難しいものです。

そんな**人目につきにくい場所で人の目の代わりに活躍するのが、「防犯カメラ」**です。

近年では家庭向けのリーズナブルな機種や、ネットワークを使って遠隔地から、スマホでライブ映像を確認したり通話することができる機能を持った機種も増えています。



(2) 犯行の証拠が残るようにする

多くの空き巣が最も避けたい事態は「逮捕」されることであり、自分を特定されるような証拠が残らないよう留意して犯行に及びます。それらに対し、**犯行の証拠を残すのに効果的な対策も「防犯カメラ」といえるでしょう。**

しかし、冬の時期はマスクや帽子、手袋をして歩いているにもかかわらず、自分の特徴や指紋などの証拠を残したくないと考える犯罪者にとってある意味活動しやすい時期です。防犯カメラがあるからといって過信せず、そのほかの防犯対策もしっかり行っておきましょう。

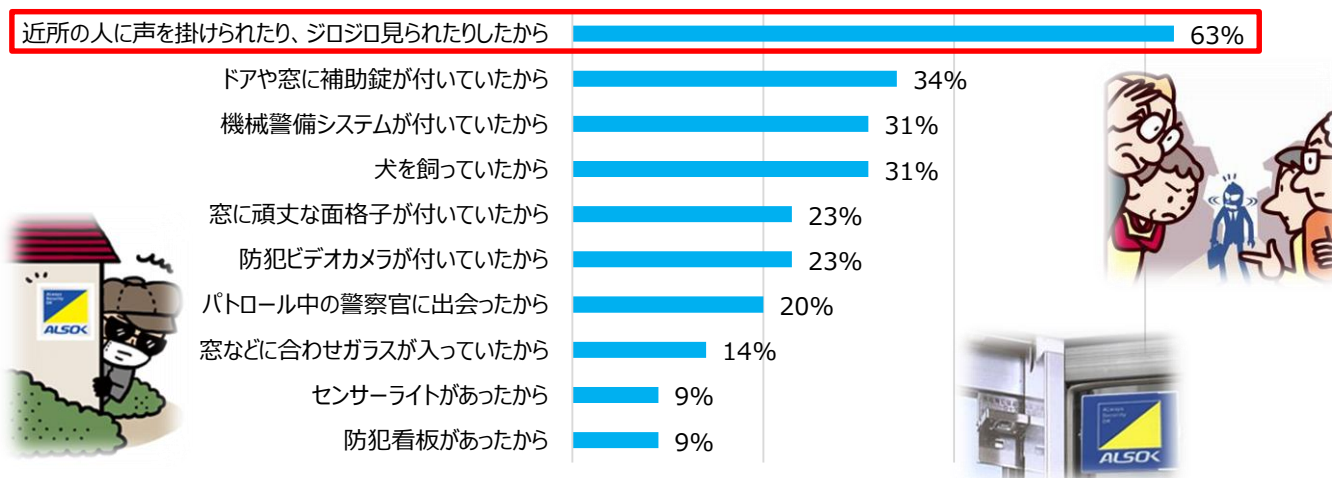
(3) 防犯意識の高い地域であると感じさせる

P12のグラフ「窃盗犯 犯行を思いとどまった理由」では、「住民の目が気になった」、「街の人に見られたり声をかけられた」から犯行を思いとどまったという意見が上位にありました。(財)都市防犯研究センターが調査した「犯行をあきらめた理由」(下記)においても同様に、地域住民の監視の目によって犯行をあきらめたという回答が最も多くなっていることから、犯行の未然防止を図る上で「地域住民の防犯意識の高さ」は重要な要素であるといえるでしょう。

また、P7で紹介したアンケートでは、犯行前に下見をおこなった元・窃盗犯のうち、約半数の者が2回以上の回数で、7割以上の者が10分以上の時間をかけて下見を行っているという結果が出ています。

空き巣犯が下見を行っている段階から「不審だ」と感じることでできる感覚を地域住民同士で共有しておく事は、防犯上とても重要なことです。さらに、「この地域は防犯意識が高い」ということを暗に示すことができるとな良いでしょう。

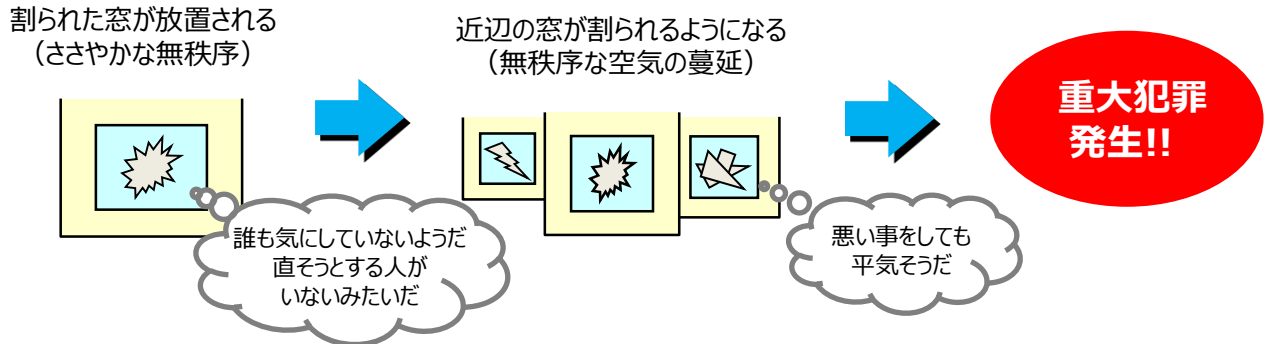
犯行をあきらめた理由



出典：(財)都市防犯研究センター「侵入盗の実態に関する調査報告書」(1994年)

【割れ窓理論】

犯罪者にとって犯行を行いやすい場所の特徴を表した理論に、「**割れ窓理論**（※注）」があります。割れた窓ガラスのような秩序違反行為が放置されているような場所は、「縄張り意識」と「当事者意識」が低い場所と判断され、犯罪者にとって警戒心を抱くことなく気軽に立ち入れる場所になってしまうという考えです。**たとえ軽微な秩序違反であっても、それが別の犯罪の呼び水となってしまうので、地域で力を合わせて速やかに対処するよう心がけましょう。**



(※注)「割れ窓理論」：米国の心理学者ジョージ・ケリングが提唱。「Broken Windows Theory」

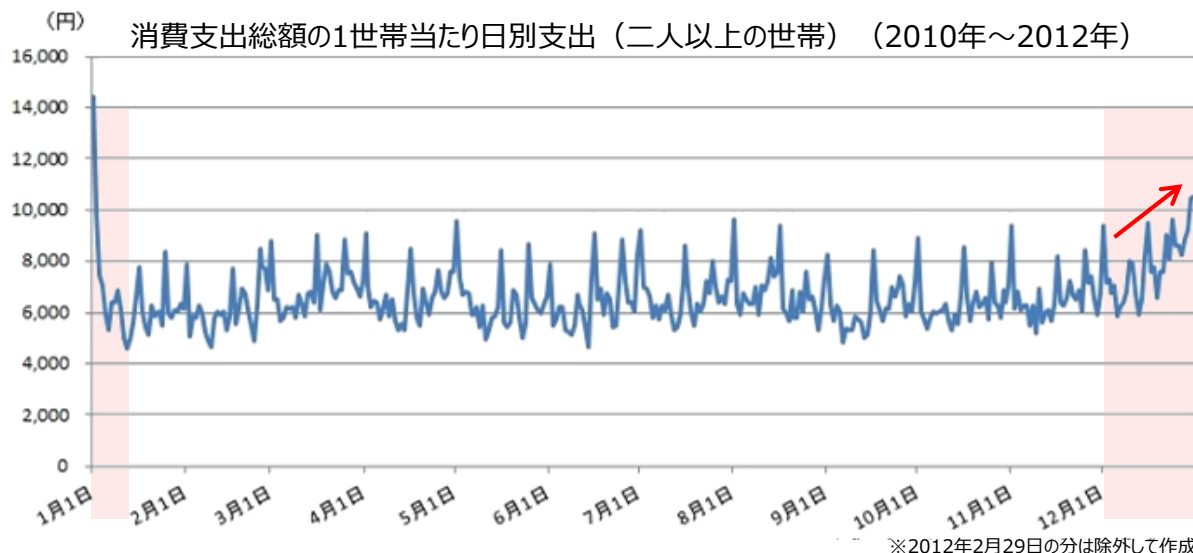
地域住民の縄張り意識、当事者意識が低いと思われること

- × ゴミ出しの日が守られていない
- × ポイ捨てされたゴミが目立つ
- × 不法投棄や落書きが長期間放置されている
- × 違法駐車（駐輪）が多い

地域住民の縄張り意識、当事者意識の高さが感じられること

- ◎ あいさつが活発に行われている
- ◎ 各住居に共通の植栽や外灯などが置いてある
- ◎ 「みなさんの通報のおかげで〇〇犯が逮捕できました」という様な掲示物がある

年末年始は「すり」にも注意！



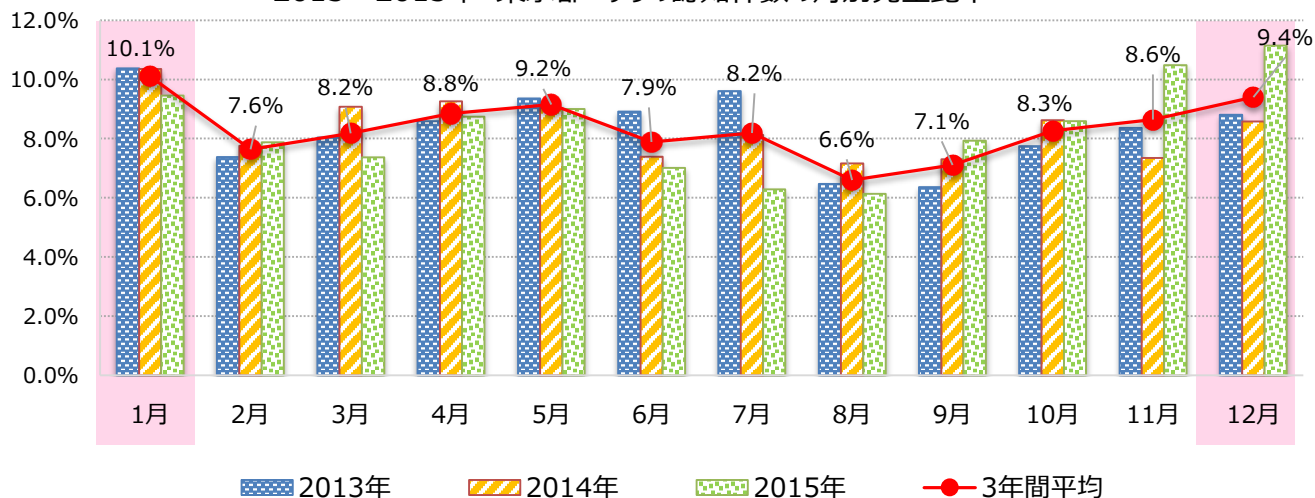
出典：総務省統計局「統計Today No.66 家計簿からみた365日～日別集計結果（2013年）」より

上記は、総務省統計局の調査による、2人以上の世帯における日別の消費支出総額を表したグラフです。年末にはクリスマスや新年を迎える準備のための支出、年始にはお年玉や初売りでの支出により、グラフが上がっているのがわかります。

イベントの多い年末年始は、支出額と同様に持ち歩く現金の額も一年で最も多い時期であると推測できますが、実は、「すり」の被害もこの時期に多い傾向が見られるので注意が必用です。

人で賑わう場所へ外出する際には、財布はポケットではなく、口が閉まるかばんの中に入れ、常に体の前側で持つように心がけましょう。

2013～2015年 東京都 すりの認知件数の月別発生比率



※警視庁「警視庁の統計（2013年～2015年）」をもとに作成

人ごみですり被害に遭わないための対策：

- ① 財布はポケットではなく、口が閉まるかばんの中に入れる
- ② かばんは常に体の前側で持つ

【参考】年末年始の空き巣対策に有効な商品・サービス

「いざというときにALSOKに駆けつけてほしい」という方におすすめのサービス

【ALSOKホームセキュリティ】

空き巣対策に最も高い効果を発揮するサービスといえば、「ホームセキュリティ」でしょう。自宅に各種センサーを設置することで、ALSOKが24時間365日、お客様に代わって自宅を見守ります。何かトラブルがあってもすぐにALSOKのガードマンが駆けつけて対処、報告してくれるので安心です。

値段も月々3,500円（税別）からとお手ごろな設定になっています。



ホームセキュリティBasic

マンションや戸建てなど、日本の一般家庭に最適な、万能型のセキュリティシステム。



HOME ALSOK プレミアム

二世帯、店舗や事務所併用住宅などの大型住宅にも対応し、高度なセキュリティシステムを搭載した進化した型

詳しくは <http://www.alsok.co.jp/person/homealsok/>

【HOME ALSOKアルボeye】

ご自宅内にインターネット経由で映像を確認できる防犯カメラを設置することで、外出先からスマートフォン等を使用して室内の様子をいつでも確認できるほか、侵入者を感知した場合には、お客様のスマートフォン等にEメールで画像とともに異常を通知します。また、必要に応じてALSOKのガードマンによるかけつけも可能なサービスです。



← IPC-07W

月額:2,500円（税別）

IPC-06HD →

月額:2,000円（税別）



詳しくは

<http://www.alsok.co.jp/person/alboeye/>

または

<http://www.alsok.co.jp/person/tellme/25/>

外出先からスマホで映像を確認できる 家庭用防犯カメラ

【Viewla IPC-06HD（屋内用）】



接続から視聴まで3ステップで、数分もあれば誰でも簡単に設置できるのが特徴のIP防犯カメラです。手軽でありながら100万画素の高画質で、暗所撮影や相互通話機能など多彩な機能を備えています。

詳細、お買い求めはこちら

http://guardman-shop.com/shop/item_detail?item_id=1561294

【Viewla IPC-16W（屋外用）】



IP66の防水防塵性能を持っており、風雨にさらされる玄関・駐車場・建築現場などの屋外でも安心して設置できます。こちらも100万画素の高画質で撮影が可能で、暗闇での撮影にも対応しています。

詳細、お買い求めはこちら

http://guardman-shop.com/shop/item_detail?item_id=1591534

空き巣に侵入をあきらめさせる 窓の防犯対策におすすめの商品

※賃貸物件に取り付けを希望の際は、事前にオーナー様、もしくは管理会社様へご確認願います。

【防犯補助錠 ALSOKロック】

「ALSOKの防犯・防災グッズ通販ショップ」人気No.1商品です

引戸式のアルミサッシ窓の内側ガラス面に直接粘着シールで貼り付けるだけで簡単に設置できる補助錠です。

ロック板が2枚あり、1枚のみ施錠することにより、換気などのために窓を数センチ開けた状態での施錠が可能です。

外部からは、補助錠の接着面に印刷された「ALSOKマーク」が見え、犯罪抑止が期待できます。



詳細、お買い求めはこちら

http://guardman-shop.com/shop/item_detail?item_id=1559634

【防犯フィルム「ガラスマン」】

ガラス破りによる侵入を防ぐため、ガラス面の内側に貼り、カギの周辺を強化することで防犯効果を高めます。A3サイズのフィルム2枚のセットです。



詳細、お買い求めはこちら

http://guardman-shop.com/shop/item_detail?item_id=1561274

【防犯センサー「どろぼーセンサーⅡ」】

ガラスの破壊、窓の開閉を検知して、アラームが鳴るセンサーです。貼るだけで簡単に取り付けできます。

ALSOKロックとの併用がお勧めです。



詳細、お買い求めはこちら

http://guardman-shop.com/shop/item_detail?item_id=750553

その他 空き巣が嫌がる防犯グッズ

【防犯砂利「ALSOK音砂利」】

庭に敷いておくだけの、お手軽防犯対策です。侵入者が音砂利を踏みつけると、約80dBの大きな音を発します(走行中の電車内程度。国内最高レベル)。

詳細、お買い求めはこちら

http://guardman-shop.com/shop/item_detail?item_id=1561254

